

令和4年度

木とふれあう環境づくり推進事業

令和4年度の助成状況について、一部ご紹介します！！

◆木育環境の整備

★紹介1：木製の園児用机・椅子，ままごとキッチンセット，積み木（始良市）

●事業主体

社会福祉法人 建昌福祉会 幼保連携型認定こども園 建昌こぎく保育園

●助成額

220,000円

●県産材使用量

0.17m³

●整備の概要

木育インストラクターが営む家具店と連携して、「木製の園児用机・椅子」，また，木育教材として「ままごとキッチンセット」や「積み木」を整備しました。園では，整備した木製品などに触れることを通じて，子どもの頃から木材への親しみを感じてもらおう「木育」に積極的に取り組んでいます。



木製の園児用机・椅子など



木育教材（キッチンセット）



木育教材（積み木）



木育教材（キッチンセット）



木育の取組（木材にふれる）



木育の取組（木材・森林をまなぶ）

◆木造施設等の整備（施設の整備）

★紹介2：第2ふじ保育園乳幼児室（枕崎市）

- 事業主体
社会福祉法人 富士福祉会 第2ふじ保育園
- 助成額
9,914,000円
- 県産材使用量
38.25m³（うちCLTの使用量5.76m³）
- 整備の概要

地域の子どもたちを安心して預けられる保育環境を提供するために乳幼児室を整備しました。木の良さや香りを直接感じてもらうために、木材の表面は無塗装で、また、天井部については構造が見えるよう現しで仕上げています。木に囲まれた空間で保育を行うことで、家にいるのと同じような感覚で、落ち着いて過ごしてもらう事を期待しています。



乳幼児施設



★紹介3：交流施設「アクネベース」（阿久根市）

- 事業主体
株式会社 阿久根建設
- 助成額
4,957,000円
- 県産材使用量
27.98m³
- 整備の概要

地域の方々に、木の良さなどを知ってもらい、かごしま材への関心を高めるために交流施設を整備しました。施設全体に、かごしま材をふんだんに使用しており、木のあたたかみなどを利用者が身近に感じられるよう現しで仕上げられています。今後は、地域の木育インストラクターと連携した木育活動や地元高校生が育てた野菜等の販売所としての活用が予定されており、地域の方々の集いの場となる事が期待されます。

交流施設



◆木造施設等の整備（製品の設置）

★紹介4：木製総合アスレチック・つき山（南九州市）

- 事業主体
社会福祉法人 更生会 地域交流センターはやま
- 助成額
4,875,000円
- 県産材使用量
12.70m³
- 設置の概要

旧別府中学校跡地に開設されている地域交流センターはやまに、木の香りや肌触りなどを感じながら遊ぶことができる木製総合アスレチックなどを設置しました。遊びに訪れた子どもたちの五感を刺激し、体全体を使うことで体の発達が促され、木に触れることで木の良さを感じることができます。



総合アスレチック



つき山



◆木製品の開発及び普及（学生デザイン活用枠）

★紹介5：コワーキングbox（組立キット）（鹿児島市）

- 事業主体
鹿児島工業高等学校
- 助成額
991,000円
- 開発の概要

持ち運び可能な組み立て式のコワーキングboxを開発しました。本製品は、誰でもスムーズに組み立てることができ、ソーシャルディスタンスが確保される等、安心・安全な木製品となっています。現在は、高校内に展示するとともに、SNS等を活用したPRを実施しています。



コワーキングbox



QRコード（Instagram）